

1. 事業の位置付け

事務事業名	駅前参道修景促進事業		
事業担当	まちづくり政策部 まちづくり政策課		
予算科目	01-080401-050000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	02	② くまの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 地域住民、商店会等】		
目的・目標		事業の概要	
大門通りでは、八幡宮に向かう歴史を活かしたにぎわいある参道の修景づくりに、市民や商店会などが主体となって取り組んでいます。		ゆとりとうるおいのあるまちの顔づくりを進めるため、市民や地域の商店会などによる平塚八幡宮の歴史を活かした景観形成を促進し、にぎわいのある参道づくりをめざします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	アドバイザー派遣回数						単位	回
	説明・算定式	商店会等の検討会に参加し、計画づくりや推進方針に対する助言を行なう。							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3	3	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	計画の進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：基本方針50% H20：計画策定50%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			50	100	-			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	本事業に係る今後の取組方針等について庁内調整のみにとどまった。							
平成19年度の主な取組と成果									
景観計画の策定と合わせて、駅前参道に係る景観づくりの方向性を検討。また、庁内各課と連携した事業の推進方針について庁内調整を行った。									
平成19年度の検証結果	B：おおむね成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中心市街地の活性化と合わせて、平塚市の玄関口として良好な景観形成を求める声が強。また、景観形成モデル地区内であり、策定中の景観計画でも景観重点区域に位置づけることとしている。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	これまでの景観形成モデル地区としての取組の継続と合わせて、市民主体の景観づくりを支援することにより、地域の特色を活かした良好な景観の形成と地域の活性化を図ることが必要である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域と調和し、地域の魅力を高める景観形成を促進するため、地域住民自らが主体となって行う景観づくりに対する支援であり、地域のニーズに応じた適切な対応が図られる。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	県等の支援制度の活用によるコスト削減が期待できる。	● 高 ○ 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。今後、新たな景観計画における景観重点区域のアクションプランの検討・実施と合わせて、地域住民等による具体的な計画づくりを支援し、より効果的な事業の推進に取り組む。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				計画づくりや推進 方策に関する支援	アドバイザーの派 遣	アドバイザーの派 遣		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	40	80	0	0
事業費 (A)		0	0	0	40	80	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,098	2,098	2,098	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	2,098	2,138	2,178	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 新たに策定する景観計画・景観条例を活用し、景観づくりに対する住民意識のさらなる高揚を図りながら、より一層の景観づくりの取り組みの促進を図る。	
平成21年度取組方針	
県等の支援制度の活用も検討しながら、住民主体の計画づくりやアクションプランの実践を支援し、駅前参道の景観形成を促進する。	
課長コメント	当該地区は景観形成モデル地区内にあり、歴史的な資源の再生や賑わいの創出など、中心市街地の顔づくりとして期待されているところであり、市民との協働による事業展開が重要であると考えます。